

踏み跡 <My Mountains>

房総	上総亀山から元清澄山・清澄山	No.232
----	----------------	--------

平成4年11月22日

房総の山を初めて歩いてみるようになった。
木更津から久留里線に乗り換えて終点が上総亀山。
落ち着いた風情の農村で、「気持ちを落ち着かせる景色」という感じがする。

駅近くの集落を抜けて、9時亀山大橋。
湖畔は海拔92m。亀山湖を渡り真南の山に向かって少しずつ高度を上げて行く。草川原の集落を抜けると急に山道が始まった。



三石山(281m) 9時45分。山頂に三つの巨岩が寄り添っていることからこの山名が付いたと言われている。その内の一つの岩の中に食い込むように三石山観音寺が建っている。(左写真)

9時55分出発、元清澄山へのさほどの起伏もなく長い稜線を南へ南へと進む。時折聞こえてくる猿の声、「ここは人間のエリアではない」ことを知らせている。

10時45分、ほぼ中間点と思える308m峰の手前で小休止。どの山も小さな尾根の張り出しが多く、谷間を流れる沢はうねうねとうねり、さほどの起伏ではないがいくつもの山並みの重なり合いを見せてくれる。これが九十九谷と言われるゆえんである。10時50分に出発。

郷台畑への分岐を過ぎて(10時58分)さらに30分で元清澄山分岐点に到着。11時28分、空腹を感じてきたがもうひとふんばり。

元清澄山(344.2m) 11時45分。三等三角点がある頂上は樹木に囲まれて、樹間に谷間を覗きこめる程度の眺め。(右写真)

食事をしながら静かな頂上を楽しんで、12時に出発。
エビネラン、道端に転がる鹿の骨、谷間に響く猿の声……。
山の上から海辺が見下ろせるのも房総の山ならではの楽しみ。
柔らかで穏やかな尾根道をのんびり歩くと清澄寺の集落に入った。妙見山を往復した後、バスで下山。

安房天津駅 15時55分着、素晴らしいタイミングで16時発の電車に飛び乗ることができた。

往路は内房線、帰路は外房線と房総半島の旅にふさわしいコース取りになった。

切り通しや裸の斜面を見ると、古い岩盤と段層、その上に生えた木が落葉を積み、土になり山になった経緯が良く分かり、歩きながら見る景色も興味深い。海拔300m台の山とは思えないような味のある山歩きは、ちょっと予想外の驚きだった。鹿の足跡や猿の叫び声等に包まれて初の房総の山歩きを楽しむことができた。

以上

